

■新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年早々6日に島根県東部を震源とする震度5強の地震がありました。人的被害はなかったものの安来市、松江市を中心に家屋等の被害が発生しました。被災者の皆様へは心よりお見舞い申し上げます。

自然災害はいつ発生するのか予測がつかないだけに日頃から非常用発電機の使用法や行動マニュアルを熟知し、訓練を行い準備をしておくことが大切です。

エネルギー供給の最後の砦としてSSの重要性が高まるよう私たちも努めてまいりたいと考えています。

昨年11月、長野石商北信支部のカルテル事案に対して排除措置命令が発令され、一部組合員に課徴金支払い命令が出されました。全石連においては、石油販売業界への信頼回復を図るため、コンプライアンス委員会を設置し、二度とこのようなことが起きないようにコンプライアンス意識の徹底を図っております。

当組合においても、本事案を他山の石としてこれからコンプライアンス意識の強化に取り組んでいきたいと考えていますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ガソリン税の旧暫定税率の廃止に際しては、11月からの3回に分けた補助金の積み増しによって、大きなトラブルもなく廃止に移行できたと考えていますが、組合としても今後の推移を注視したいと考えています。

人口減少、電動車の普及などによってガソリン等の需要は年々減少してきており、我々組合員の経営環境は悪化し、持続的な経営もままならない状況です。

昨今の物価高、人件費の上昇といったコスト高に対応するためには、適正な粗利を確保し採算経営に徹していかなければなりません。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

本年は「丙午(ひのえうま)」の年です。まぶしい太陽のように輝き、華やかでエネルギッシュな力強い年となりますよう組合員の皆様とともに組合活動に取り組んでいく所存ですのでよろしくお願いいたします。



令和8年1月吉日
島根県石油協同(商業)組合
理事長 大賀誠一